



ERICSSON

# エリクソン特定サプライヤ用労働安全衛生 (OHS)基準

Standard



## 目次

1	はじめに .....	3
2	労働安全衛生上(OHS)の管理.....	3
2.1	一般 OHS の要件.....	3
2.2	現場における特定要件.....	4
2.2.1	PICW の責任と権限 .....	4
2.2.2	PICW の経験と知識.....	4
3	OHS 事故報告と調査 .....	4
4	安全性計画.....	5
5	下請け会社の管理 .....	6
6	リスクの管理 .....	6
7	訓練と適正.....	7
8	機器の安全性 .....	7
9	情報の変更.....	7

© Ericsson AB 2021

All rights reserved.本文書の情報はエリクソンの所有物であり、予告なく変更されることがあります。エリクソンは、事実に関する誤りまたは誤字について、何ら責任を負うものではありません。



## 1 はじめに

エリクソン一般サプライヤ用労働安全衛生（OHS）基準に加えて、この特定 OHS 基準は、建設作業、現場保守、およびネットワーク展開サービスのサプライヤ、及び契約により本文書に拘束されるその他すべてのサプライヤに強制的に適用されます。この基準は、その他すべてのサプライヤに推奨されません。

## 2 労働安全衛生（OHS）管理

### 2.1 一般 OHS 要件

サプライヤは、自費で以下を行います。：

- OHS の全ての問題を検討し、単一の連絡窓口となる上級担当者を指名する。；
- サプライヤ組織全体への OHS の伝達に関する役割と責任を明確に定義する。；
- 適切な OHS 管理プロセスを用意し、十分な人材を配置し、従業員、サプライヤ、下請業者、およびその他の第三者からのサービス運用に関連する OHS リスクを特定し、それに対処する。；
- エリクソンと協力して、OHS 協定（OHS 計画でも可）を作成する。サプライヤはサービスを実行する間、合意された OHS 協定を維持する。；
- 従業員、下請業者、およびサプライヤの OHS 訓練の必要性を評価し、適切なレベルの訓練が行われるようにする；
- リスク評価と PPE 点検プロセスの全ての基準を実行して、必ず自らの従業員、エリクソンの従業員、および第三者の死亡または重症となる全ての関連する切迫したリスクを管理してから、関連する作業やサービスを開始する。；
- エリクソンの要求に応じて、安瀬寧製コンプライアンス、適正および資質の監査に必ず参加し、エリクソンに全面協力する（エリクソンの顧客が参加する場合もある）。；



- 検査、テスト、および監査のプログラムを通じて、必ず OHS パフォーマンスを継続的に関しおよびレビューし、そのデータを要求に応じてエリクソンに提供する。

## 2.2 現場における特定要件

サービス提供者は、それぞれの現場または指定された作業エリアに現場責任者（PICW）を任命する。

### 2.2.1 現場責任者の責任と権限

- 担当現場および指定された作業エリアの全般的な安全を確保する。
- エリクソンの OHS 要件に準拠する。
- 現場には義務としての研修、訓練を受けた従業員及びビジターのみが参加可能。
- すべての従業員が訓練を受け各自の業務遂行能力を有する。
- 要求される OHS の現場書類を用意する。
- 必要と在れば重大なリスクを伴う作業を中止できる権限。

### 2.2.2 現場責任者の経験と知識

- 十分な OHS 関連知識および経験。
- 特定作業の理解および、関連する危険とリスクに対する管理措置。
- 関連の OHS 法規及び規制の知識。

## 3 OHS 事故報告と調査

サプライヤは以下を必ず実行します。:

- 事故およびニアミスの報告、記録、調査を行うために必要な全てのシステムを用意する。;



- 死亡または重症につながる恐れがあったすべての重大事故（死亡、重症、重大な健康障害、危険発生）またはニアミスは、[エリクソンのグローバル OHS 事故報告ツール](#)を使用して 24 時間以内に報告される事；
- サプライヤは、すべての重大事故の調査に置いて、エリクソンへの協力と支援を行う。
- 重大事故および事故調査に関するすべての詳細を、エリクソンと共有する（サプライヤは、エリクソンのグループ企業およびエリクソンの顧客がこれらを共有する可能性がある事を了承する）。

## 4

### 安全計画

サプライヤは、全ての建設作業および高リスクのプロジェクトについて、安全計画を作成および実行し、作業の関連リスクを管理するためにサプライヤが用意する手段を詳述します。

この計画には、以下を含めます。

- 着手する作業の範囲；
- 主な連絡先、および OHS に関する責任（OHS の特定任務に携わる人物の免許、資格、経験を含む）；
- リスクの評価と軽減措置（第 6 章を参照）；
- 訓練と資格の規定（第 7 章を参照）；
- 合意によって必要な基準を確実に満たし、エリクソンに当該 OHS データを提供できるよう、サプライヤが用意する監視、監査、検査、認定、および報告に関する詳細プロセス；
- サプライヤーの事故報告および調査手続きの詳細；
- 下請け業者の選定および管理方法の詳細（台 5 章で詳述する基準の伝達を含む）；
- 作業実施時の高リスク物質の選択、使用、および管理方法の詳細；
- サプライヤの緊急時用プロセスの詳細



- その他エリクソンとサプライヤ間で必要とされる管理プロセスの詳細。

## 5 下請会社の管理

サプライヤは、以下を含む強力な仕組みを用意して、請負業者を管理します:

- 請負業者の OHS 能力がエリクソンの基準を満たしているかどうかを評価するシステムとプロセス;
- サプライヤの義務を請負業者に伝え、その義務を反映する契約上の取り決め;
- サプライヤとその請負業者との間のパフォーマンス管理方法に関する契約上の記載;
- エリクソンの OHS ポリシーおよび指示に対する請負業者のコンプライアンスについて、伝達と監視を行う方法
- 請負業者の OHS 運用を定期的に検査するためのシステム。

## 6 リスク管理

サプライヤは、作業範囲に関わるリスクを管理する仕組みを用意し、最低限以下の事項を行います。:

- 作業範囲に関連する危険を特定し、OHS リスク評価に関する業界のベストプラクティスを使用するか、または OHS の法令や規則に準拠して関連リスクを評価する;
- リスクを除去または軽減する手段を実行する;
- リスクを受ける恐れのある人物に必要な管理措置を伝達する;
- これらの管理措置のパフォーマンスを継続的にレビューする。



## 7 訓練と資格

サプライヤは最低限、以下の事項を必ずサプライヤのスタッフおよび請負業者に適用します。:

- エリクソンのために、またはエリクソンの代理として作業を行う者はすべて、指定された実施作業に関連する訓練を受ける;
- 高リスク作業では、目的にあった訓練を行う（適切な言語を使用し、対象者に合った手段で訓練を実施する）;
- 高リスク作業（高所作業、電気工事、運転など）は、必ず訓練を受けた有資格者が行う
- 訓練記録は、いつでもエリクソンが閲覧できるようにする

## 8 機器の安全

サプライヤは、以下の事項を必ず実行します:

- すべての機器（クレーン、吊上げ機械、チェーン、ロープなど）は、製造者の推奨に従って、検査、テスト、保守、および認定する。
- 機器の変更は、製造者の推奨に従い、認定国際承認期間の承認を得る。
- 全ての施設と聞きは、使用目的に合わせ、製造者の推奨に従って保守を行い、使用前に点検/検査し、必ず操作資格を有する者が使用する。;
- 事故調査方法は文書化し、機器の欠陥または障害に対処するプロセスを含める。;
- 機器の使用、保守、保管、廃棄に関する適切な情報と指示を入手し、エンドユーザーに伝達する。

## 9 情報の変更

B 改訂からの変更点:



- この書類へのアップデートは新規エリクソンのブランディング要件に限定され、内容は変更されない。